

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	1	基本施策	1 子育て支援	公約事業	3歳未満児の保育料無償化	担当部署	こども未来課
内容	国による無償化対象外の3歳未満児についても保育料無償化を実現するもの。					関連事務事業	・市立保育所管理運営事業 ・へき地保育所管理運営事業 ・認定こども園管理運営事業 ・一時保育事業・病児保育事業 ・幼児保育無償化実施事業 ・許可外保育施設多子世帯保育料補助事業
重要業績 成果指標 KPI	保育料の見直し					現状値 (指標設定時)	90,700円～4,500円
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—	—	—	無償化	無償化
実績値							
実施内容 [凡例] 計画	①各施設の実態把握						
	②保育料（利用料）の確認 他市状況の調査						
	③保育料の見直し (条例・規則改正)						
	④保育料の無償化						
進捗管理							
進捗状況	取り組めていない	進捗状況に関する理由・補足等		保育園の人員配置や設備を見直し、3歳未満の児童の受入れ人数の拡充（公約番号3）が優先として取り組んでいる。			
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】							
現状の課題		全市的な取組とするためには、民間施設についてどのように実施するかが課題。					
今後の取組(予定)		令和6年度中に他市等の状況調査を行う予定。					
第7回経営会議以降の取組		令和7年度において、市施設（認可保育所1カ所、認定こども園1カ所、へき地保育所2カ所）において実施することとし、へき地保育所との協議、保育料と一緒に徴収している給食費の整理、条例・規則の改正等を行い、令和7年10月実施を目途とする。なお、民間施設においては引き続き実施手法等の検討を行う。					
R7年度予算編成に向けた取組		実施予定時期を踏まえた、保育料の予算計上を行う。《参考：令和5年度保育料決算額 14,333千円》					

市長公約事業のロードマップ^o（2023-2027）

公約 番号	2-1	基本施策	1 子育て支援	公約事業	全園児の給食費の無償化	担当部署	こども未来課
内容	全ての園児の給食費を無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るもの。					関連事務事業	・ 市立保育所管理運営事業 ・ へき地保育所管理運営事業 ・ 認定こども園管理運営事業
重要業績 成果指標 KPI	保育施設の園児の給食費の無償化					現状値 (指標設定時)	2,240円～5,600円 ビバの子保育園、認定こども園の0～2歳保育料 に含まれている
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—	—	—	無償化	無償化
実績値							
実施内容 【凡例】 計画 	①各施設の実態把握						
	②他自治体の状況把握 制度内容の協議検討						
	③条例等の見直し						
	④給食無償化の実施						
進捗管理							
進捗状況	取り組めていない	進捗状況に関する理由・補足等		保育園の人員配置や設備を見直し、3歳未満の児童の受入れ人数の拡充（公約番号3）が優先として取り組んでいる。			
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】							
現状の課題		全市的な取組とするためには、民間施設についてどのように実施するかが課題。					
今後の取組(予定)		令和6年度中に他市等の状況調査を行う予定。					
第7回経営会議以降の取組		今後、早期の実現に向けて、課題の整理を行っていく。					
R7年度予算編成に向けた取組		令和8年度の実施に向けて、検討を行っていく。					

市長公約事業のロードマップ^o（2023-2027）

公約番号	2-2	基本施策	1 子育て支援		公約事業	全園児の給食費の無償化		担当部署	学務課		
内容		全ての園児の給食費を無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るもの。						関連事務事業	私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業 幼児教育無償化実施事業 私立幼稚園一時預かり事業		
重要業績 成果指標 KPI		私立幼稚園の園児の給食費の無償化						現状値 (指標設定時)	—		
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値		—		—		—		無償化		無償化	
実績値											
実施内容 [凡例] 計画 	①各施設の実態把握										
	②他自治体の状況把握 制度内容の協議検討										
	③規則等の制定										
	④給食無償化の実施										
進捗管理											
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等								
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			・他自治体の状況把握 ・市内幼稚園の給食実施状況の把握								
現状の課題			市内全園児を対象とするため、今後は保育所を所管する「こども未来課」とも連携を図り、本市独自の制度設計を構築する必要がある。								
今後の取組(予定)			引続き、他自治体の状況を調査し、令和8年度実施に向け、制度設計に着手する。								
第7回経営会議以降の取組			引続き、他自治体の状況調査を実施する。								
R7年度予算編成に向けた取組			令和8年度実施予定のため、R7年度予算編成には未計上								

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	3	基本施策	1 子育て支援	公約事業	保育園の人員配置、設備の見直し	担当部署	こども未来課
内容	潜在的な待機児童の解消と安全で豊かな保育の実現に向け、保育園の人員配置、設備を見直します					関連事務事業	市立保育所管理運営事業 へき地保育所管理運営事業 認定こども園管理運営事業
重要業績 成果指標 KPI	3歳未満の児童の受入れ人数の見直し					現状値 (指標設定時)	ビバの子保育園 50名 認定こども園ひまわり 6名
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—	—	—	ビバの子保育園 60名 認定こども園ひまわり10名	ビバの子保育園 60名 認定こども園ひまわり10名
実績値							
実施内容 〔凡例〕 計画 	①各施設の受入れ体制の確認						
	②保育士の確保						
	③施設の改修・整備						
	④各施設の受入れ定員の見直し（条例・規則改正）						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	令和6年度及び令和7年度の採用試験を行うことは決定しているものの、全国的な保育士不足から予定人数を確保できるかは未定。				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		3歳未満児の受入体制の拡充に向けて、まずは保育士自身が生活への影響や不安がなく安心して働ける環境づくりをすることにより、精神的なゆとりを持って保育にあたることができ、安全・安心な保育環境を構築するため、令和6年度及び令和7年度に一定程度の保育士を採用するよう採用担当課と協議を行った。					
現状の課題		3歳未満の各年齢ごとの通園のニーズ把握及びそれに伴う施設の活用の変更や改修についてが課題。					
今後の取組(予定)		保育士確保に向けて、保育士養成機関へのPR及び保育士求人サイト等の活用。保育園における施設利用の見直しや施設改修に向けた保育園及び都市建築住宅課との協議。					
第7回経営会議以降の取組		保育士の確保については、令和7年度の採用に向けて、8月に保育士養成教育機関を訪問した。さらに、保育士専門求人サイトへ求人広告の掲載を決定した（11月～翌1月掲載予定）。施設の改修については、課内で課題整理のうえ、都市建築住宅課との協議を行った。					
R7年度予算編成に向けた取組		保育士の確保については、保育士専門求人サイトへの掲載料等の計上を行う。施設の改修については、近日中に市長との協議により実施方針を決定のうえ、必要に応じて予算計上の検討を行う。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	4-1	基本施策	1 子育て支援	公約事業	安全に遊べる公園や屋内遊戯施設の整備	担当部署	こども未来課、都市建築住宅課
内容		一年を通じて子どもたちが安全に遊べる公園や屋内遊戯施設を整備します				関連事務事業	—
重要業績 成果指標 KPI		屋内遊戯施設の整備				現状値 (指標設定時)	—
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—	—	—	—	—
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 ↔	①公住建替市民検討委員会の開催及び基本構想の策定※1	↔					
	②アンケートの実施 ※2	↔					
	③基本計画・基本設計			↔基本計画↔基本設計			
	④実施設計					↔	
進捗管理							
進捗状況	計画よりも遅れている		進捗状況に関する理由・補足等	「美唄市公営住宅建替え等基本構想」策定における庁内協議では、市営住宅を優先して整備することで合意している。			
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			「美唄市公営住宅建替え等基本構想」において、住宅建設を予定する旧美唄工業高校跡地の活用の中で、屋内遊戯施設整備を検討。 令和5年9月に屋内遊戯施設に関するアンケート調査を実施。近隣市町の屋内遊戯施設を視察（令和5年8月に南幌町の「はれっぱ」、令和5年11月に岩見沢市の「あそびのひろば」）。				
現状の課題			整備場所、施設規模、整備する遊具・設備・機能、整備時期、財源などの協議				
今後の取組(予定)			「美唄市公営住宅建替え等基本計画」の策定において、引き続き、住宅建設を予定する旧美唄工業高校跡地の活用の中で、屋内遊戯施設整備を検討。				
第7回経営会議以降の取組			美唄市旧美唄工業高校跡地の利活用に関する庁内検討委員会を3回開催され、屋内遊戯施設を含めた当該土地の利活用について協議を行った。				
R7年度予算編成に向けた取組			上記委員会において、方針が決定されていない中での予算計上は難しいものと考えている。				

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	4-2	基本施策	1 子育て支援	公約事業	安全に遊べる公園や屋内遊戯施設の整備	担当部署	都市整備課
内容	一年を通じて子どもたちが安全に遊べる公園や屋内遊戯施設を整備します					関連事務事業	公園施設等再整備事業
重要業績 成果指標 KPI	—					現状値 (指標設定時)	—
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—	—	—	—	—
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	①既存遊具の点検・管理等						
	②新たな公園遊具の検討						
	③工事発注・完成						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			・遊具の設計単価を決定する業務を実施。				
現状の課題							
今後の取組(予定)			・工事入札を8月29日に行うよう起工する予定。				
第7回経営会議以降の取組			・工事発注が行われ12月20日に完成する予定。				
R7年度予算編成に向けた取組			・点検結果Cランクの遊具において、使用見込み期限の9割を経過したものの更新を進めていく。				

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	5	基本施策	2 将来世代への投資	公約事業	英語・コンピュータ教育事業	担当部署	学務課・指導室
内容	英語、コンピューターなど世界とつながる教育を小学校1年生から実施します					関連事務事業	・外国人講師小中学校派遣事業 ・小・中学校コンピュータ教育事業
重要業績 成果指標 KPI	英語：標準学力検査（NRT）において、偏差値平均50以上 コンピューター：発達段階に応じた設定目標推進（参考：iPad 学年別活用スキル表）					現状値 （指標設定時）	小6 48.0 中1 46.2 中2 46.9
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			偏差値50/スキル達成	偏差値50/スキル達成	偏差値50/スキル達成	偏差値50/スキル達成	偏差値50/スキル達成
実績値			偏差値46.4/スキル未達成				
実施内容 [凡例] 計画 ↔	①英語教育の充実 ・国際理解教育の推進（小1、小2） ・外国語活動及び外国語・英語教育の充実（小3～中3）						
	②コンピューター教育の充実 ・学年別活用スキル表に基づく取組推進						
	③世界へ視野を広げた教育活動の充実に向けた内容の検討						
	④世界へ視野を広げた教育活動の充実に向けた取り組みの実施						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		・ALTを活用した国際理解教育の実施および英語教育の充実。 ・学年別活用スキル表に基づいたコンピュータリテラシーの段階的な取得。 ・海外在住者とのビデオ等による交流。					
現状の課題		・海外在住者等との交流が単方向となってしまうことや時間的な課題（時間の確保、時差等）がある。					
今後の取組(予定)		・児童生徒の実態に基づく学年別活用スキル表の改善（更新）。 ・現在進めている教育活動を継続しながら、双方向での交流など教育活動の充実・改善を進めていく。					
第7回経営会議以降の取組		令和7年度当初から、ALTを活用した中学生対象の放課後英会話教室を週1回を目途に実施できるよう各校と調整等を進めている。（KPI 英会話教室の開催 30回/年）					
R7年度予算編成に向けた取組		ALTの勤務時間内に実施することを想定しており、現在のところ新たな予算を組む予定はない。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	6	基本施策	2 将来世代への投資	公約事業	学校外活動費助成事業	担当部署	学務課
内容	家庭環境によらず、子どもたちが自らの可能性を広げる機会を提供するために、学校外活動（習い事、塾など）にかかる費用の一部助成を検討します					関連事務事業	
重要業績 成果指標 KPI	—					現状値 （指標設定時）	—
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—	—	—	—	—
実績値							
実施内容 〔凡例〕 計画	①他自治体の状況把握						
	②制度内容の検討及び市内事業者との協議						
	③規則等の制定						
	④助成事業の実施						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		・他市町村の実施状況調査 ・市内主要塾経営者等との協議（3事業者）					
現状の課題		・同様の事業を実施している他市町村が非常に少ない ・費用助成の対象となる学校外活動の範囲設定並びに助成支給対象学校種の設定 ・助成金支給方法の検討（先払いか後払いかなど）					
今後の取組(予定)		引続き先進都市の実施状況の調査を進め、また必要に応じて関係者と協議を図りながら、令和7年度実施に向け、制度設計や規則等の制定などの事務を向け執り進める					
第7回経営会議以降の取組		先進都市の助成制度を参考にするとともに、部活動地域移行に伴うスポーツクラブ会費の助成などの先を見据えた運用方針を検討中である。					
R7年度予算編成に向けた取組		関係部署と制度設計について協議を行い、令和7年度予算編成に計上する。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	7	基本施策	2 将来世代への投資		公約事業	子ども議会の開催	担当部署	◎広報情報推進課				
内容		子どもや若者が参画する（仮称）若者会議を設置し、若者自らが議論し実践できる場をつくる。					関連事務事業	美唄シティプロモーション推進事業				
重要業績 成果指標 KPI		（仮称）若者会議からの事業提案					現状値 （指標設定時）	0回				
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			0回		1回		1回		1回		1回	
実績値			0回									
実施内容 【凡例】 計画 	①先進事例調査											
	②若者会議の制度設計											
	②若者会議の開催・運営											
進捗管理												
進捗状況	計画よりも遅れている		進捗状況に関する理由・補足等		「美唄まちづくり部」として子どもがまちづくりに参画する仕組みは発足させたが、「（仮称）若者会議」自体の制度設計については、令和6年度中に引き続き検討が必要となる。							
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			令和5年度中においては、美唄中学校と連携し、中学生による模擬議会体験の取組を実施した。 令和6年度に入っからは、美唄シティプロモーション推進事業の取組として、6月に、子ども参画のまちづくりの先進自治体である宮崎県都農町への視察を実施するとともに、7月には、子どもたちが主役となり、地域の大人たちと力を合わせてまちを盛り上げる活動を行う「美唄まちづくり部」を立ち上げ、活動を開始したところ。また、尚栄高校において実施している「探究学習」への助言役として、各分野の地域おこし協力隊に取組への参画の調整も行い、子ども・若者のまちづくりへの関わりづくりを進めている。									
現状の課題			「美唄まちづくり部」については、実践に重きを置いており、子どもたちが取り組みやすいところから活動を進めるものとして、スモールスタートの形をとっており、一定規模の予算を配分して子どもたちが予算の使い道を議論して決める、といった仕組みには至っておらず、制度設計については引き続き検討が必要。 また、「美唄まちづくり部」の部員は今のところ有志の小学生のみとなっており、市内の小・中・高の各校の代表者が集まったの合議体といったものにもなっていない。各校から代表を選出し参画してもらう仕組みとするには、今後、学校との調整も必要となる。									
今後の取組(予定)			「美唄まちづくり部」について着実に取組を進めることを最優先とし、「（仮称）若者会議」のあり方や「美唄まちづくり部」との関連について、引き続き検討し、必要に応じて市内の学校との調整を図る。									
第7回経営会議以降の取組			「美唄まちづくり部（通称：ピバ部）」発足後、歌舞裸まつり、市民ふれあいまつりに参加した他、1月に実施する市民見学会の企画、実施準備、当日の案内に向け取り組みを進めている。 「探究学習」については、9月19日に中間発表会を実施									
R7年度予算編成に向けた取組			美唄ブランドを軸に、市民が主体的に美唄市の魅力の再発見や、魅力向上を図るアイデアを提言できる場として、まちづくり部等の活動を加速させ、さらなる美唄への愛着を高める。また、美唄ブランドのWEBメディアや広報運用等の情報発信に加え、「美唄まちづくり部」等の活動をより深掘りし、情報発信を行い、美唄市の認知度向上に加え、美唄と関わる意欲を創出する。「（仮称）若者会議」の在り方については「美唄まちづくり部」や既存の団体（マガレンジャー等）との接続を意識しながら実行に向けて検討を行う。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	8	基本施策	3 高齢者の生活を守る	公約事業	交通手段の確保と利便性の向上		担当部署	市民部生活環境課		
内容		市街地の効率的な公共交通体系の実現を図るため、AIデマンドシステムの導入を検討することでし、利便性の向上を目指す。					関連事務事業	地域公共交通活性化・再生総合事業		
重要業績 成果指標 KPI		—					現状値 (指標設定時)	—		
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—		—		—		—	
実績値										
実施内容 [凡例] 計画 	①AIデマンド制度設計									
	②地域説明会・実証運行									
	③実証運行の検証									
	④AIデマンド本格運行									
進捗管理										
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等							
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			令和4年12月に策定した美咲市地域公共交通計画に基づき、A Iデマンドバスを検証するために美咲市地域公共交通活性化協議会において検討した。 現在、令和6年度 美咲市AIデマンドバス短期実証調査業務を遂行するため、公募型プロポーザルを実施し、参加希望者を募集中。							
現状の課題			人口減少や少子高齢化に伴う通勤・通学における公共交通利用者の減少や、運転手不足、財政のひっ迫状況から、市内の公共交通をこのまま維持することが困難になってきており、これまで以上に利便性が高く効率的な公共交通体系の充実が必要である。今回のAIデマンドバス短期実証調査業務の結果によっては第二期短期実証調査業務（再調査）が必要になる可能性が残っている。							
今後の取組(予定)			今後は事業参加希望者より、企画提案書の提出及びプレゼンテーション及びヒアリングを行い、事業者を選定しAIデマンドバス短期実証調査を実施、その結果を検討後、AIデマンドバスの本格運行へとつなげていく。							
第7回経営会議以降の取組			R6年10月から12月まで実証運行を実施（R6.11.18現在 登録者数 418人 1日平均乗客数23人） 1日当たりの乗客数は増加傾向にあるが、A Iデマンド機能を検証していくためには新たな利用者の取り込みが必要なことから、実証運行期間の延長を検討中。							
R7年度予算編成に向けた取組			実証運行を継続しながら、制度設計・運行範囲等を検証。							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	9	基本施策	3 高齢者の生活を守る	公約事業	間口除雪の要件緩和	担当部署	地域包括ケア推進課
内容	高齢者宅間口除雪支援における要件緩和により負担低減に向けて、要件緩和の可能性や実施方法を検討する。					関連事務事業	間口除雪事業
重要業績 成果指標 KPI	—					現状値 (指標設定時)	—
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値		—		—	—	—	—
実績値							
実施内容 【凡例】 計画	①要件緩和の検討						
	②実施方法の検討						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	必要と思われることを確実にやっている。				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		・現在、間口除雪の対象路線となっていない「歩道路線」の実施可否について、美唄市建設業協会、都市整備部から専門的な助言を受けた。 ・集落支援員による令和5年度美唄市除雪実態調査から、市民ニーズを把握した。 ・岩見沢市の間口除雪の状況について、視察を行った。					
現状の課題		・歩道路線の除雪について、市民間の不公平感がない内容で、事業者数が減っている中でも持続可能な方法を検討しているところである。 ・岩見沢市を視察し、実施状況を伺ったが、さらに情報を収集していく必要がある。					
今後の取組(予定)		・令和6年8月7日の空知管内都市副市長会議の中で、他市の「玄関の間口の除雪の状況」について伺い、より良い方法を検討していく。 ・これらを参考に、最終的な案を作成する。					
第7回経営会議以降の取組		・令和6年8月7日の空知管内都市副市長会議で出された他市の「玄関の間口の除雪の状況」について把握した。 ・上記を踏まえ、関係部署と要件緩和や実施方法等について検討を行った。					
R7年度予算編成に向けた取組		・間口除雪の要件緩和の最終的な案を近日中に決定予定。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	10	基本施策	3 高齢者の生活を守る		公約事業	医療福祉の環境・体制整備		担当部署	地域包括ケア推進課			
内容		医療福祉の環境・体制整備により安心して歳を重ねられるまちにします						関連事務事業	在宅医療介護連携推進事業			
重要業績 成果指標 KPI		人手不足に対する新しい対応方法を実践できる事業所						現状値 (指標設定時)	0 か所			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		1		2		3	
実績値												
実施内容 【凡例】 計画 	①人手不足の介護事業所の 状況調査※1											
	②人手不足への新しい対応 方法を検討※2											
	③新しい対応方法の実践											
	④評価・検証											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		必要と思われることを着実にやっている。							
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			①第9期介護保険事業計画の介護保健サービス事業者アンケート調査結果から、「法令上の人員を満たしておらず、事業の定員を減らしている事業所」は7.2%であり、人手不足の介護事業所は、想定していたよりも少ない状況。 ②身近な地域で介護従事者の募集を周知するための工夫を検討中。									
現状の課題			・新たな介護従事者を探すだけでなく、現在働いている人が、業務を継続したいと思える環境の整備が必要。 ・若い世代、高齢者等、様々な世代の方が介護の仕事に魅力を感じられるような働きかけが必要。									
今後の取組(予定)			・ 尚栄高校での認知症サポーター養成講座の継続（市内の介護従事者等の多職種と学生の交流） ・ 外国人介護者等認知症対応力向上研修の実施（市内で介護に従事する外国人の皆さんが、介護職を続けたいと思う気持ちの醸成） ・ 道の「介護のしごと魅力アップ推進事業」を市内で開催									
第7回経営会議以降の取組			・ 令和6年10月 9日(水) 尚栄高校での認知症サポーター養成講座の実施。市内の介護従事者等の多職種と学生が交流した。(47名の参加) ・ 令和6年10月10日(木) 外国人介護者等認知症対応力向上研修の実施。市内で介護に従事する外国人の皆さんが、介護職を続けたいと思う気持ちを醸成した。(23名の参加) ・ 令和6年10月18日(金) 道の「介護のしごと魅力アップ推進事業」を市内で開催した。(61名の参加) ・ スポットワーク（スキマワーク）等の情報収集中。									
R7年度予算編成に向けた取組			・ 令和8年度以降の実施を予定。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	11	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	市立美唄病院の機能の再検討	担当部署	市立美唄病院事務局
内容	市民の命を守るため、高齢者医療、回復期医療に機能分化する方針を掲げる市立病院の機能を2024年度までに再検討します。					関連事務事業	
重要業績 成果指標 KPI	－					現状値 (指標設定時)	－
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			－	－	－	－	－
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	機能の再検討						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			2023.3～必要な医療提供体制を確保するため「市立美唄病院経営強化プラン」策定 2024.1～市立美唄病院経営強化プラン推進委員会開催し、経営強化プランの点検評価報告等について議論 2024.4～救急医療体制充実のため大阪医科大学救急科より医師派遣を拡充 2024.7～総務省の地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業を活用し病院経営全般について望月アドバイザーから助言				
現状の課題			市内唯一の救急告示病院としての医療提供体制				
今後の取組(予定)			引き続き、総務省の地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業を活用しアドバイザーから助言（年4回程度）をいただき、併せて市立美唄病院経営強化プラン推進委員会において協議を行っていく。				
第7回経営会議以降の取組			○10/11に市立美唄病院経営強化プラン推進委員会を開催しプランの点検評価を行い、望月アドバイザーから助言 引き続き、望月アドバイザーと12月、2月に経営安定に向けた取り組み内容について協議を行うほか、令和7年度診療体制についても助言をもらう ○民間経営コンサルタントのレセプト増点トライアルを申込み予定(契約については、今後、院内協議)				
R7年度予算編成に向けた取組			○救急医療体制充実のため大阪医科大学救急科からの医師派遣を継続 ○訪問看護室を訪問看護ステーション化するほか、訪問診療体制を強化する ○札幌医科大学診療実習受入れを拡大するほか、初期研修医・後期研修医・総合診療医専門医研修受入れのための体制を強化する				

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	12	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	急性期医療機能における岩見沢・砂川との連携強化	担当部署	市立美唄病院事務局、健康推進課
内容	急性期医療機能における岩見沢市立総合病院・砂川市立病院との連携強化に向け、救急医療に関する情報交換会を行い、救急医療体制の継続・強化を図るため連携協定を締結する。					関連事務事業	救急医療啓発普及事業
重要業績 成果指標 KPI	—					現状値 (指標設定時)	—
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—	—	—	—	—
実績値							
実施内容 〔凡例〕 計画 ↔	①両病院との情報交換 (年1回)						
	②消防署、医師会等関係機関との連携強化を目的とした協議会(仮)の開催(年1回)						
	③両病院との連携協定の締結						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	市立美唄病院において岩見沢市立総合病院・砂川市立病院との連携強化を図るとともに、岩見沢市、砂川市と本市においても救急医療に関する情報共有を行い関係構築に努めている。R6年度には砂川市立病院との連携協定の締結を行う見込みである。				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		市立美唄病院において日常的に岩見沢市立総合病院・砂川市立病院事務局と情報共有を行っている。 R6. 6.18 美唄市医師会主催で救急医療意見交換会を開催し、毎年意見交換会を開催することを確認					
現状の課題		美唄市医師、道内医育大学及び大阪医科薬科大学に医師の派遣を依頼し、夜間・休日の救急医療体制を確保している。今後持続可能な救急医療提供体制の確保に向け、岩見沢市立総合病院・砂川市立病院と連携協定を締結する必要がある。					
今後の取組(予定)		砂川市立病院と連携協定締結を予定 救急医療意見交換会を継続					
第7回経営会議以降の取組		市立美唄病院において岩見沢市立総合病院・砂川市立病院事務局と情報共有を行っている。また、砂川市訪問の際、砂川市長と美唄市長において連携協定締結に向け協議を行った 南空知定住自立圏医療担当者部会において、救急医療提供体制の継続等について岩見沢市と連携した事業等について協議を行った(①8/8②9/19③10/28)。 南空知保健医療福祉圏域連携推進会議救急医療対策専門部会(7/25)に出席し、「北海道医療計画 南空知地域推進方針」の協議に参画。					
R7年度予算編成に向けた取組		美唄市医師会主催の救急医療意見交換会に出席し、関係機関と現状と課題共有を図る。地域医療に関する研修会等に出席するなど、救急医療提供体制の維持、地域包括ケア推進に向けた関係機関とのネットワークを強化。岩見沢市立総合病院・砂川市立病院事務局と情報共有を継続。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	13-1	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	水道などのインフラ劣化へ計画的な対応	担当部署	上下水道課
内容		老朽化が進む上下水道施設の管理更新を計画的に実施するため、施設の点検を強化し、その結果や経過年数・施設の重要度等により優先順位を決定してインフラ劣化へ計画的に対応します。				関連事務事業	水道事業 下水道事業
重要業績 成果指標 KPI		—				現状値 (指標設定時)	—
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）	
目標値		—		—		—	
実績値							
実施内容 〔凡例〕 計画 	上水道施設 改築更新						
	下水道施設 改築更新						
進捗管理							
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等		上水道施設は、国道12号拡幅工事に伴う移設工事を優先することにより、更新工事の予定が先送りになっている。 上水道施設ほどではないが、下水道施設は、交付金が要望額通りに内定されないことにより、更新工事の予定が先送りになっている。			
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		・上水道施設 改築更新 上水道施設に関しては、現計画が令和6年度までのため、建設事業改良計画（R7～R16）の策定を行った。 国や道の工事における今後の計画を協議し、道路工事及び移設補償工事が円滑に行えるように努めた。 ・下水道施設 改築更新 汚水整備事業は、整備面積が85.3%に達して事業は終盤を迎えており、現在はストックマネジメント計画を中心に改築更新事業を行っている。					
現状の課題		今後さらに老朽施設が急増していくため、施設の維持管理や老朽化に伴う更新費用の増大により経営環境が厳しくなることが想定される。					
今後の取組(予定)		引き続き、国や道との協議を進めることにより円滑に移設工事を実施する。また、施設の点検結果を更新計画へ反映させる。					
第7回経営会議以降の取組		更新計画に基づいた（老朽化の程度及び重要度）工事を順次発注してきている。					
R7年度予算編成に向けた取組		R 7 年度についても同様に計画に基づいた予算計上に努めていく。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	13-2	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	道路などのインフラ劣化へ計画的な対応	担当部署	都市整備課
内容		道路などのインフラ劣化へ計画的に対応するため、路線箇所の優先順位付けの検討を行う。				関連事務事業	都市計画街路整備事業
重要業績 成果指標 KPI		—				現状値 (指標設定時)	—
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値		—		—	—	—	—
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	生活道路の整備に係る 評価基準の検討						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			・生活道路における再整備の路線選定は維持管理費を削減する観点から融雪期の土のうの設置数が多い路線を最優先とし、地域要望や東西南北の地域バランスを考慮し決定している。				
現状の課題			・整備対象となる用途区域内における生活道路は329路線で延長が85kmある。 ・生活道路における再整備は凍上の影響によって被害を受けた道路であり、凍上の被害の発生や進行は路線によって異なり予測は困難である。 ・路線数の多さや凍上被害の進行状況が路線によって異なるため順位付けを行った場合、毎年見直しが必要となり事務が煩雑となる。				
今後の取組(予定)			・順位付けではない路線のランク付けが可能か検討する。				
第7回経営会議以降の取組			・ランク付けを行っても凍上被害の進行状況が路線によって異なるため、見直しを毎年行う必要があり事務が煩雑となってしまう。				
R7年度予算編成に向けた取組			・委託業務による実施は検討していない。				

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	14	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	美唄ブラックダイヤモンドズとの連携による市民が運動する設備の整備	担当部署	総務課・ 経済観光課・生涯学習課
内容	パートナー協定を締結する美唄ブラックダイヤモンドズが管理する屋内運動施設を市民に解放してもらうことを協議検討する。					関連事務事業	公有財産管理事務 スポーツビジネス起業化支援事業
重要業績 成果指標 KPI	—					現状値 (指標設定時)	—
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—	—	—	—	—
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	①市民への施設解放						
	②連携事業の実施						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	美唄ブラックダイヤモンドズの活動などとおして、屋内運動施設を開放する。				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		パートナー協定に基づき、スポーツの振興や子供の育成などを目的とした「野球少年団への指導」や「小学校児童との交流」、「地域住民との交流会」などの開催のほか、美唄ブラックダイヤモンドズが運営上支障のない範囲において、野球やサッカーなどに関わる地元の小中学生や高校生に対し、屋内運動施設を開放するなど、関係人口の創出と交流人口の拡大を図る、施設の多面的な活用に取り組んでいる。					
現状の課題		美唄ブラックダイヤモンドズの活動に支障のない範囲での限定的な施設解放であるほか、トレーニング機器整備の拡充の検討が必要である。					
今後の取組(予定)		美唄ブラックダイヤモンドズと緊密に連携し、相互による交流を図りながら、パートナー協定に基づき、引き続き屋内運動施設の開放を進めていく。					
第7回経営会議以降の取組		将来的な屋内運動施設の解放に向けた施設の修繕見込みとクラウドファンディング（美唄ブラックダイヤモンドズ主体による）を活用したトレーニング器具の導入計画など、施設の段階的な活用に向けて、引き続き取り組んでいる。					
R7年度予算編成に向けた取組		市民が安心して利活用できる施設にするため最低限の施設の修繕及びトレーニング器具の導入。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	15	基本施策	5 市民の暮らしとともにある観光		公約事業	アルテピアッツァ美唄の活用のあり方の再構築		担当部署	生涯学習課			
内容		多額の予算を投じている「アルテピアッツァ美唄」について、市としての活用におけるあり方を市民とともに再構築します（安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄ビジョンの見直し）。						関連事務事業	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄管理運営事業 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄整備事業			
重要業績 成果指標 KPI		—						現状値 （指標設定時）	—			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	①関係者等との協議・検討											
	②入場（入館）料可否の検討											
	③安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄ビジョンの見直し											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等									
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			NPO法人とのアルテビジョンの見直し、入館料徴収についての意見交換及び令和5年度の美唄市文化財保護委員会内での入館料徴収の必要性についての委員との意見交換を行った。									
現状の課題			入館料の徴収について、徴収する場合は本施設は様々な場所から敷地内に入ることができることから、敷地内に入った全ての人から徴収するのか、建物の中に入った人から徴収するのか等、どこでどのような形で入館料を徴収するか引き続き検討が必要									
今後の取組(予定)			・計画通り、引き続き関係者と施設の活用方法や入館料の徴収などについて協議・検討を行っていく。 ・令和7年度中のアルテビジョンの改訂に向け取り組む。									
第7回経営会議以降の取組			ランニングコストの財源確保に向け、指定管理者と協議を行う。									
R7年度予算編成に向けた取組			新たな歳入予算を組む予定はない。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	16	基本施策	5 市民の暮らしとともにある観光	公約事業	美唄富良野線開通を見据えた観光拠点づくり	担当部署	経済観光課
内容	観光ビジョンに掲げる観光拠点施設の整備について、今後の市内外の交流人口・関係人口創出を促進させるため、市の魅力を最大限活用した観光拠点を市民等との協働により検討する。					関連事務事業	新規事業
重要業績 成果指標 KPI	－					現状値 (指標設定時)	－
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			－	－	－	－	－
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	観光拠点候補地の選定・アンケート調査等						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	R6.8.26開通に合わせ、進捗中				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		道道美唄富良野線未開通15.5kmについて、工事を実施してきたところである。					
現状の課題		冬期間は安全面を見極めるため通行止め。緊急時の連絡が途絶えている区間である。					
今後の取組(予定)		R6.8～空知総合振興局が道道美唄富良野線開通に係る美唄と芦別市のPR動画制作を計画。 R7～道道美唄富良野線開通の周知、拡大等を見据え、イベント開催、動向調査を予定。 R9～スキー場整備の完成を目指し、スキー場の夏利用や周辺の環境整備も一体に検討。					
第7回経営会議以降の取組		①情報発信（新聞、SNS、報道等） ②国内を対象とした観光客動向分析、調査（業務期間：12月～3月） ③開通した区間に看板設置（地域貢献により実施）					
R7年度予算編成に向けた取組		①3市（富良野市：へそ祭り、芦別市：けんか祭り、美唄市：かぶら祭り）によるスタンプラリーを実施するため広告費及び特産品プレゼント費用を各市で計上計画中 ②沿線沿い観光地づくりとして、スキー場整備：R7は実施設計及び施工 ③第2期構想：スキー場通年利用及び周辺施設あり方等の調査業務 ④インバウンド観光客の動向分析、調査 ⑤情報発信（新聞、SNS、報道等）					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	17	基本施策	6 農業・産業振興	公約事業	資材・肥料・燃油高騰に直面している農業への給付	担当部署	農政課
内容		資材・肥料・燃油高騰に直面している農業への給付				関連事務事業	農業経営緊急支援事業
重要業績 成果指標 KPI		－				現状値 (指標設定時)	－
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値		－		－	－	－	－
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	①支援内容の検討						
	②支援内容の審査・決定						
	③支援開始						
進捗管理							
進捗状況		進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		令和4年度 経営面積1ha当たり5,000円、施設園芸作物売上に応じた支援100-300万円15,000円、300-500万円25,000円、500-700万円50,000円、700-1,000万円75,000円、1,000万円以上100,000円 の支援 令和5年度は、令和4年度の単価の半額として支援					
現状の課題		資材・肥料・燃油高騰は継続している					
今後の取組(予定)		ありません					
第7回経営会議以降の取組		特に進展しておらず、国、道の動向に注視しています。					
R7年度予算編成に向けた取組		国の物価高騰対策で実施した経過から、現段階で市単独での次年度予算は考えていないところです。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	18	基本施策	6 農業・産業振興	公約事業	スマート農業の産官学連携による推進	担当部署	農政課
内容		効率化や後継者不足といった課題の打ち手として、「美唄の農業に適したスマート農業」を産官学連携のもと推進します。				関連事務事業	美唄スマート農業推進事業
重要業績 成果指標 KPI		スマート農業機械利用者普及率				現状値 (指標設定時)	31
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）	
目標値		35		40		45	
実績値		38.56					
実施内容 [凡例] 計画 	①産官学連携方法の検討						
	②大学等との連携開始						
	③産官学連携事業の実施						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等		連携内容の検討の窓口も野口教授本人であるほか、野口教授との連絡はメールのみとなっている。野口教授のメール返信も早いことから打合せなどに支障は特でない状況である。また、美唄市ICT農業推進協議会との連携内容の調整についても同時に進めている。			
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		令和5年10月 桜井市長と北海道大学野口教授などと大学内で面談、令和6年2月 桜井市長と北海道大学野口教授などと大学内で2回目の面談 令和6年2月 美唄市ICT農業推進協議会が野口教授との面談とスマート農業施設視察、令和6年6月 野口教授が市役所で美唄市ICT農業推進協議会向けの講演 令和6年7月 野口教授へ連携協定内容案について打診					
現状の課題		本市に適合するスマート農業に関する協定内容の立案					
今後の取組(予定)		令和6年12月 市民会館大ホールで野口教授講演会及び 桜井市長、野口教授、農林水産省吉田剛技術普及課長によるスマート農業ディスカッション					
第7回経営会議以降の取組		令和6年12月20日 市民会館大ホールで野口教授講演会及び 桜井市長、野口教授、農林水産省吉田剛技術普及課長によるスマート農業ディスカッション					
R7年度予算編成に向けた取組		連携内容の内部検討（スマート農業とマガンによる小麦食害対策）及び北大への提案（11月～令和7年3月）					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	19	基本施策	6 農業・産業振興		公約事業	企業誘致による雇用の創出		担当部署	経済観光課			
内容		美唄市の周辺環境の変化（道道美唄・富良野線開通など）を踏まえ、企業を誘致し雇用を創出します。						関連事務事業				
重要業績 成果指標 KPI		誘致企業数						現状値 （指標設定時）	0件			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			－		2社		2社		2社		2社	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 ↔	①企業誘致分野の検討	↔										
	②地域活性化企業人の採用	→										
	③企業誘致活動 （DM・訪問）	→										
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		美唄市産業振興条例に基づき企業誘致活動を行う							
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			ホワイトデータセンター構想を活用した企業誘致へ発展させるため、イベント出展による空知団地の周知・PRによる企業誘致活動を実施。									
現状の課題			空知団地の企業立地の相談は、再エネ関連が多い状況から、専門的な知見による情報入手や関係者との連携など、丁寧に対応することが求められている。									
今後の取組(予定)			R6空知団地企業誘致推進会議にて半導体関連産業に対するアンケート調査及びPR活動を実施（実施中）し、企業誘致先を広げ、企業訪問を積極的に行う。									
第7回経営会議以降の取組			半導体関連産業に対するアンケート調査から、将来的な北海道への進出を検討している企業に企業訪問を実施し、企業誘致の実現に向けて取り組んでいる。									
R7年度予算編成に向けた取組			ホワイトデータセンター構想の実現に向けた空知団地の周知・PRのほか、半導体関連産業を中心に企業訪問を実施していく。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	20	基本施策	6 農業・産業振興	公約事業	ふるさと納税の倍増	担当部署	参事（農商工連携担当）
内容	リピート率向上施策と体験型商品の開発により「ふるさと納税」を倍増（4年後：40億円）します。					関連事務事業	特産品情報発信促進事業
重要業績 成果指標 KPI	ふるさと美唄応援寄附金額					現状値 （指標設定時）	17.2億円
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			20億円	25億円	30億円	40億円	40億円
実績値			23.6億円				
実施内容 [凡例] 計画 	①返礼品の充実						
	②魅力ある地域づくりに 関する情報発信						
	③寄附金の使途の発信						
進捗管理							
進捗状況	計画よりも進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	本市のまちづくりの取組や農産物・特産品が外から高い評価をいただいた結果であり、また期待されているものと分析。				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		・ふるさと納税紹介サイトを増やす取組 ・ふるさと納税事務委託業者と連携し、新たな返礼品の開発やふるさと納税紹介サイトの商品掲載サポート、事業者の新規開拓などにより返礼品の充実に努めてきた。					
現状の課題		・ふるさと納税返礼品の掘り起こしや種類を増やすこと ・新規の寄附者の獲得、リピーターの確保 ・いただいた寄附金の使途をわかりやすく情報発信を行う					
今後の取組(予定)		・課題をクリアするとともに、「ふるさと美唄応援制度」の活用やSNSでの情報発信などによる「美唄ファン」との絆を深める取組を進めることで、関係人口の創出、拡大を図り、将来的な移住・定住に繋げていく。					
第7回経営会議以降の取組		令和6年度産米のふるさと納税返礼品への出品の促進を働き掛けたほか、新規にふるさと納税返礼品事業者の開拓					
R7年度予算編成に向けた取組		現在の状況を踏まえ、返礼品事業者との協議を行い、企画財政課と相談のうえ予算編成を行う					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	21	基本施策	7 物価高騰対策		公約事業	市独自の直接給付（1万円）の実施		担当部署	特別定額給付金推進室			
内容		物価高騰による影響が市民全体に及んでいることを受け、迅速かつ的確に家計への支援を行うため、住民1人につき1万円の給付金を支給する。						関連事務事業	美唄市物価高騰対策臨時特別給付金事業			
重要業績 成果指標 KPI		—						現状値 （指標設定時）	—			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値												
実施内容 【凡例】 計画 	①支給内容・方法の検討											
	②特別定額給付金の支給											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		事業完了							
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			・支給世帯数 対象世帯数 10,879世帯 支給世帯数 10,749世帯 支給率 98.8％ 未支給世帯数 130世帯 ・支給人数 対象者数 19,136人 支給人数 19,001人 支給率 99.3％ 未支給人数 135人 ・支給額 190,010千円 ・受給拒否数 8世帯 11人									
現状の課題			なし									
今後の取組(予定)			なし									
第7回経営会議以降の取組			なし									
R7年度予算編成に向けた取組			なし									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	22	基本施策	7 物価高騰対策	公約事業	生活用品等の寄附窓口の設置と再配布の事業化	担当部署	市民部生活環境課
内容	衣料品・生活用品等のリユース事業化を検討します					関連事務事業	
重要業績 成果指標 KPI	—					現状値 (指標設定時)	—
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）	
目標値		—		—		—	
実績値							
実施内容 【凡例】  計画	①「無償であげます・ください」 美唄アプリ掲載検討						
	②「ジモティー」等の掲示板サイトへの掲載検討						
	③リユース拠点の設置検討（人員増 or 業務委託）						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		令和6年2月14日、美唄市と株式会社ジモティーは、「美唄市と株式会社ジモティーとのリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定」を締結。両者の連携により、市内のリユース活動を促進、環境負荷の少ない循環型社会の創造に寄与している。 古着のリユースイベント実証事業をR5年度において12月と2月の2回、6年度において6月に1回開催している。					
現状の課題		当課の業務が多忙なため毎月の開催が難しい（人員の確保が必要）。 環境係の車で古着を保管しているが、ネズミに衣類を齧られたり、湿気が多いためにカビが生えやすい環境であるため衣類保存用のケースなどの管理に必要な消耗品が不足していることやイベント開催に係るハンガーラックや机等の備品についてもコアびばいのご厚意で借用している状況、今後も借用できるか不透明であり、本来であれば市が用意しなければならないものの、R6予算の査定ゼロ予算では、資金的に継続が困難である。					
今後の取組(予定)		コアびばい内でも人の行き来が多い、中心部にブースを設けることで、より多くの方に古着のリユースイベントに来場いただき、古着を活用してのリユース啓発をすることができた。継続開催を希望する声も多く、市民ニーズがあることが確認できた。今後は、来場者の多くが高齢者であったことからターゲット層を変えながら、更なるジモティーの普及促進や古着の取扱増に向け、リユースに興味を持てただける企画を検討する。					
第7回経営会議以降の取組		古着のリユースイベントを11月に開催。ジモティーへの掲載、古着の回収については継続。					
R7年度予算編成に向けた取組		リユースについての市民理解を浸透させていくため、リユース先のターゲット層や開催場所を工夫しながら、市民にリユース活動に興味を持てただける企画を検討していきたい。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	23	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	政策形成や意思決定の過程の見える化	担当部署	企画財政課
内容		経営会議の公表と、総合計画の進捗状況を市民に分かりやすく見せるための工夫を行う。				関連事務事業	第7期総合計画進行管理事務
重要業績 成果指標 KPI		—				現状値 (指標設定時)	—
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値		—		—	—	—	—
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	①経営会議の公表						
	②施策評価の記載方法の見直し（R6～）						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等				
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			①経営会議の公表については、経営会議に付する案件を整理するとともに、ホームページに開催結果を掲載している。 ②施策評価の記載方法の見直しについては、他自治体の事例などを調査研究を進めている。				
現状の課題			①特になし ②施策評価をはじめ、様々な評価様式（事前評価表、事後評価表、市長ヒアリング資料、事務事業インデックス）があり成果指標などの整合性が図れていない。				
今後の取組(予定)			①特になし ②様々な評価様式の成果指標の整合性を図ることができるように様式を作成する。				
第7回経営会議以降の取組			事前評価表、事後評価表、市長ヒアリング資料の様式を変更した。事務事業インデックスは次期インデックスの作成に合わせて様式の検討を進めていく。				
R7年度予算編成に向けた取組			各様式を変更し、庁内周知済み。				

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	24	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	予算が大きく優先度が低い事業の見直し	担当部署	企画財政課
内容		予算が大きく優先度が低い事業の実施内容・時期を見直します。				関連事務事業	備考欄に記載
重要業績 成果指標 KPI		—				現状値 (指標設定時)	—
年度		2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)	
目標値		—		—		—	
実績値							
実施内容 [凡例] 計画	①既存事業の見直し						
	②各年度当初予算査定						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		毎年度の予算の中で、国の地方財政計画を見極めながら、市民ニーズの把握及び課題解決に向け事業の見直しを行っている。					
現状の課題		昨今の物価高騰のほか、扶助費など社会保障関係費や公共施設やインフラの老朽化対策などの支出増が見込まれている。					
今後の取組(予定)		人口減少や少子高齢化の進展に伴う財政規模の縮小を見据え、持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き「事務事業の質的な転換」を図っていく。					
第7回経営会議以降の取組		令和7年度予算編成方針を庁内周知。					
R7年度予算編成に向けた取組		事務事業評価を踏まえ、効率的な予算編成となるよう各部のヒアリングを実施する。					

公約 番号	25	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	年40回を目標とした市民と市長との対話会の実施		担当部署		広報情報推進課				
内容		年に40回を目標に、各地域で市民と市長及び職員との対話会を実施します。					関連事務事業		広聴事務				
重要業績 成果指標 KPI		市民との対話に係る事業開催数					現状値 (指標設定時)		21回				
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）		
目標値			24	②延9回、③9回、④6回	27	②延12回、③9回、④6回	34	②12回、③10回、④12回	40	②12回、③10回、④18回	40	②12回、③10回、④18回	
実績値			26	②延17回、③9回、④0回	26	②延3回、③10回、④2回、 ⑥7件、⑥4回							
実施内容 【凡例】 計画	①検討・制度設計												
	②【継続】 市長との対話の日												
	③【拡充】地域懇談会 オープンディスカッション												
	④【新規】 まちづくり勉強会												
	⑤【新規】 まちづくり目安箱												
	⑥その他												
進捗管理													
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		当初想定 of 「④(仮)市長出張対話会等」を、④【新規】まちづくり勉強会、⑤【新規】まちづくり目安箱、⑥その他 へ細分化し実施								
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】			令和6年度から「まちづくり勉強会」「まちづくり目安箱」を開始。また、今年度は歌舞裸まつりにあわせ、市長との対話の機会を設けた。										
現状の課題			各種対話の機会の市民周知										
今後の取組(予定)			年40回の目標達成に向け、各種対話の機会の周知に努める。										
第7回経営会議以降の取組			「まちづくり勉強会」は3回実施、「まちづくり目安箱」には12件の投書があった										
R7年度予算編成に向けた取組			引き続き年40回の目標達成に向け、各種対話の機会の周知に努める。										

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	26	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	緊急事態で機動力を発揮する市役所・職員の体制構築	担当部署	危機管理対策室
内容		緊急事態で機動力を発揮する市役所・職員の体制を構築します。				関連事務事業	地域防災事業
重要業績 成果指標 KPI		①システム登録者数 ②職員研修の開催				現状値 (指標設定時)	①登録率0% ②年0回
年度		2023年度		2024年度		2025年度	
目標値		①登録率100% ②年1回		①登録率100% ②年1回		①登録率100% ②年1回	
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	①美唄市防災情報一斉配信 システムの職員登録						
	②災害時における対応に係 る職員研修の開催						
進捗管理							
進捗状況	取り組めていない		進捗状況に関する理由・補足等		人員不足		
これまでの取組 【第7回経営会議報告内容】		①災害時の職員参集については、主に第2非常配備体制時に参集することとなる管理職のJ-アラート登録を実施 住民向けの防災情報配信システムとは別に、災害時職員参集用のシステムの導入を検討 ②新採用職員向けや総合防災訓練時に防災講話等を実施					
現状の課題		①人事異動により対象外となった場合には、登録を削除している。また、登録に非協力的な職員もあり、災害時の主担当でなければ、災害対応の意識が希薄していることが憂慮される。 ②幸いにも本市は、災害対策本部設置等の機会が少ないことから、逆に災害時の経験がない職員が多い。そのため、災害への意識が希薄していることが憂慮される。また、災害時対応力の練度向上を図るための研修が必要と思慮するが、訓練企画等のノウハウがない。					
今後の取組(予定)		①職員の登録について庁内通知を行う。 ②全職員向けの研修を複数回に分けて実施。（研修内容は同じとする）					
第7回経営会議以降の取組		①すぐメール登録について全庁通知を行う。 ②新採用職員研修の中で、防災研修を実施した。全職員を対象とした防災研修の実施に取組む。					
R7年度予算編成に向けた取組		①職員向け登録システムの導入(すぐ参集) ②札幌管区気象台や岩見沢河川事務所等の出前講座を活用した研修の実施					